

2012年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの4期目となった2012年度は、地域と鉄道の一層の結びつきが必要との認識のもと、交通環境の調査研究を進めると共に地域鉄道フォーラムの開催、イベントへの後援等を行ってきました。 詳細については以下のとおりです。

1. 交通環境の調査研究

鉄道をとりまく現状、市民参加の現状に関する諸情報を収集するとともに以下の調査研究を公表しました。

- (1) 平成23年鉄道政策に関するトピックス2題：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.04〕p132～135
- (2) 由利高原鉄道利用促進シンポジウムパネルディスカッションの要約：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.05〕p133～138
- (3) JR化から25年 国鉄改革の前後：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.06〕p133～139
- (4) JR化から25年 国鉄改革の前後鉄道事業の変革：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.07〕p70～77
- (5) 平成24年3月期JR各社の決算：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.08〕p134～138
- (6) 平成23年度（平成24年3月期）民鉄決算(1)：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.09〕p132～139
- (7) 平成23年度（平成24年3月期）民鉄決算(2) 東京地下鉄の決算と事業計画：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.10〕p163～169
- (8) JR貨物の25年：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.11〕p131～135
- (9) 東日本大震災により被災した鉄道の復旧：入江 聡 地域交通を考える4〔'12.11〕p6～23
- (10) ユーラシア大陸西端の国の鉄道を訪ねて「ポルトガル・リスボンの電車たち」：高橋敏昭 地域交通を考える4〔'12.11〕p24～35
- (11) 鉄道法律相談「プラットホームの安全確保」：小島好己 地域交通を考える4〔'12.11〕p36～41
- (12) 基幹的公共交通機関として整備が始まったアルピコ交通・上高地線：原潔 地域交通を考える4〔'12.11〕p42～45
- (13) 日本の蒸気機関車が全廃になった頃：佐藤英明 地域交通を考える4〔'12.11〕p46～52
- (14) 地域鉄道フォーラム「全国公募鉄道社長サミット in 東京」講演録 地域交通を考える4〔'12.11〕p53～90
- (15) JR貨物の25年（後）：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.12〕p131～137
- (16) 平成25年予算概算要求：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'12.12〕p146～147
- (17) 東京、都心駅の再生：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'13.01〕p86～90
- (18) 大阪のターミナルデパート情報：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'13.02〕p72～77
- (19) 整備新幹線をめぐる話題（その1）：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'13.03〕p107～112

2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

(1) 主催活動

国土交通省鉄道局後援 第4回地域鉄道フォーラム「全国公募鉄道社長サミット in 東京」の開催
期 日：平成24年6月9日（土） 13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加人員：172名

（プログラム・敬称略）

1. 開会の辞

交通環境整備ネットワーク審議役 松本孝徳（北条鉄道 前副社長）

2. 公募鉄道社長による講演「地域と鉄道」

秋田内陸縦貫鉄道（秋田県） 社長 酒井 一郎

由利高原鉄道（秋田県） 社長 春田 啓郎

山形鉄道（山形県） 社長 野村 浩志

ひたちなか海浜鉄道（茨城県） 社長 吉田 千秋

千葉都市モノレール（千葉県） 社長 大澤 雅章

いすみ鉄道（千葉県） 社長 鳥塚 亮

3. 全国公募鉄道社長サミット

交通評論家佐藤信之と公募社長によるパネルディスカッション

(2) 後援・協力、参加等の活動

後援・協力

1. 由利高原鉄道主催「第1回由利高原鉄道検定試験」後援 平成24年6月1日~平成24年8月26日
2. みちのく鉄道応援団・東北福祉大学鉄道交流ステーション主催「仙山線鉄道遺産シンポジウム「新幹線は仙山線から始まった」」後援 平成24年6月13日~平成24年7月7日
3. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第16回企画展「線路いろいろばなし」後援 平成24年8月1日~平成24年11月10日
4. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第17回企画展「柏木璋一の写真と模型—鉄道に魅せられて半世紀」後援 平成24年11月10日~平成25年3月2日

参加・講演等

1. 国土交通省鉄道局・観光庁主催の「地域鉄道の再生・活性化等研究会（座長矢ヶ崎紀子首都大学特任准教授）」に委員として参加：原潔（平成23年4月より）
2. 国土交通省主催「地域公共交通のあり方を交通基本法とともに考えるシンポジウム参加（平成24年4月13日 一橋記念講堂）
3. 地域鉄道の再生・活性化等研究会現地視察（いすみ鉄道）参加：原潔（平成24年5月20日）
4. 第31回運輸政策研究所研究報告会参加（平成24年5月25日）
5. 放送大学千葉学習センター担当授業「地域生活文化満載の銚子電鉄の創世」：向後功作（平成24年6月30日）
6. ごめん・なはり線シンポジウム7. 1講演：吉田千秋（平成24年7月1日安芸市）
7. 第111回運輸政策コロキウム「観光地再整備の方法と推進方策に関する研究—地区再整備による魅力ある観光地形成」参加（平成24年7月5日）
8. みちのく鉄道応援団・東北福祉大学鉄道交流ステーション主催「仙山線鉄道遺産シンポジウム「新幹線は仙山線から始まった」」参加（平成24年7月7日）
9. 公益事業学会関東部会において「都市鉄道の上下分離の事例研究」報告：佐藤信之、原 潔（平成24年7月28日 電力中央研究所）
10. 関東運輸局千葉運輸支局地域公共交通確保維持に関する情報交換会講師：向後功作（平成24年8月24日）
11. 第112回運輸政策コロキウム「多世代ミックス居住型沿線まちづくりに関する研究～東京圏を事例として～」参加（平成24年9月20日）
12. 第6回「運輸と経済」創刊65周年記念フォーラム「グリーン経済政策と交通—経済・エネルギー危機への対応戦略—」参加（平成24年9月24日）
13. 国土交通大学校講師「地域鉄道を支えるためには」：原潔（平成24年10月31日）
14. 船橋市習志野台公民館主催講演会「船橋の鉄道史」で講演：佐藤信之（平成24年11月10日）
15. レールファン・ブラスバンド演奏会参加：向後功作（平成24年11月24日）
16. 第32回運輸政策研究所 研究報告会参加（平成24年11月27日海運クラブ 国際会議場）
17. 県営人車軌道開業100周年記念イベント参加（平成24年12月8日大多喜）
18. 武蔵野トーキンアウト「武蔵野を語ろう～鉄道編～」で講演：佐藤信之（平成24年12月9日武蔵野プレイス・カフェ・フェルマータ）
19. 第113回運輸政策コロキウム「都市開発と駅整備の整合性に関する研究」参加（平成24年12月13日）
20. 地域鉄道の再生・活性化等研究会現地視察（DMVほか）参加：原潔（平成25年1月26日札幌）
21. 交通まちづくりフォーラム—みんなで支える公共交通—「第10回バスマップサミット in 札幌」で講演：吉田千秋（平成25年2月16日札幌）
22. 公益財団法人交通協力会主催交通シンポジウム「都市鉄道の課題—持続可能な発展の道を探る」参加（平成25年2月21日）
23. 関東運輸局地域公共交通マイスター会議&地域公共交通セミナーアドバイザー：吉田千秋、向後功作（平成25年3月6日）

3. 収益事業

以下の収益事業を実施しました。

(1) 地域鉄道支援事業

地域鉄道支援事業においては、過年度の販売処理を行いました。第4回地域鉄道フォーラム「全国公

募鉄道社長サミット」を記念して公募鉄道6社合同の記念入場券セットの発売を企画しました。

(2) 調査出版事業

津軽鉄道小史の継続頒布を行うとともに、広島電鉄100年史の編纂事業を継続受託、完成をみました。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> を使って法人運営に関しての告知と地域交通に関する情報の提供を行いました。

平成24年3月22日より東北観光博の応援を開始しました。

平成24年9月21日より東北運輸局が東日本大震災からの復興の軌跡をまとめ刊行した「よみがえれ！みちのくの鉄道」がダウンロードできるページとリンクを開始しました。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道関係諸情報を収集するとともに会員あてメールで配信を行いました。

(2) 会報の発行

交通環境の調査研究論文のほか地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第4号を平成24年11月に発行しました。

(3) 鉄道ジャーナル誌に法人活動等掲載

当法人並びに会員の活動を紹介する「ECOTRAN通信」欄を毎月鉄道ジャーナル誌に掲載しました。

5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 平成24年6月9日(土) 11時～12時

場所 東武博物館ホール

出席者及び委任状及び賛成議決個数 64 個 (総社員数 108)

報告承認事項

2011年度事業報告の件

2011年度決算報告の件

2012年度事業計画の件

2012年度収支予算書の件

事務局からそれぞれの内容を説明し、2011年度事業報告及び2011年度決算報告については、唐崎監事から正しく事実と認める旨の監査結果報告がありました。

会場に一括承認を願ったところ、満場一致で承認がされました。

(2) 理事会

①平成24年4月24日(火)

定時社員総会の開催について、第4回地域鉄道フォーラムの開催について、ほか

②平成24年9月27日(木)

規程類の整備について、会報の作成について、イベントの計画について、ほか

③平成24年11月27日(火)

会報の作成について、公募社長リレーサミットの開催について、地域鉄道フォーラムの開催について、ほか

④平成25年3月25日(木)

定時社員総会の開催について、理事・監事選任の件について、第5回地域鉄道フォーラムの開催について、ほか

(3) 会員数

平成25年3月31日現在

会員数 120名

2012年度 決算報告書

(第4期：2012年4月1日～2013年3月31日)

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収 支 計 算 書

(第4期: 2012年4月1日～ 2013年3月31日)

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
① 受取入会金	15,000	15,000			15,000	0	
② 受取年会費	200,000	234,000			234,000	△ 34,000	
③ 事業収益	650,000		532,500		532,500	117,500	
地域鉄道支援事業	(350,000)		(0)		(0)	(350,000)	(内数)
調査出版事業	(300,000)		(532,500)		(532,500)	(△ 232,500)	(内数)
④ 受取寄付金	0	37,000			37,000	△ 37,000	*1 別掲
⑤ 雑収入等	5,000	1,960	53		2,013	2,987	
⑥ 他会計からの繰入額		75,000	75,000	△ 150,000	0		
事業活動収入計	870,000	362,960	607,553	△ 150,000	820,513	49,487	
(2) 事業活動支出							
① 事業費支出	590,000	88,120	402,332	0	490,452	99,548	
② 管理費支出	230,000	178,407	119,100	0	297,507	△ 67,507	
③ 他会計への繰出額		75,000	75,000	△ 150,000	0		
事業活動支出計	820,000	341,527	596,432	△ 150,000	787,959	32,041	
事業活動収支差額	50,000	21,433	11,121	0	32,554	17,446	
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	50,000	0	0	50,000	△ 50,000	*2 別掲
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	50,000	0	0	50,000	△ 50,000	
4. 予備費支出	50,000	0	0	0	0	50,000	
当期収支差額	0	71,433	11,121		82,554	△ 82,554	
前期繰越収支差額	657,206	581,484	75,722		657,206	0	
次期繰越収支差額	657,206	652,917	86,843		739,760	△ 82,554	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

***1 ご寄付を頂いた方**

藤本昌弘様 30,000円
川上五郎様 7,000円
—ありがとうございました—

***2 新規基金拠出**

藤本昌弘様 50,000円

(参考: 基金拠出内訳)

佐藤信之 100,000円
原 潔 100,000円
向後功作 100,000円
吉田千秋 100,000円
田中 人 50,000円
斎藤 実 50,000円
長瀬 博 50,000円
唐崎好彦 50,000円
藤本昌弘 50,000円

事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業費							
(1)セミナー・トレインの開催	10,000	0			0	10,000	
(2)鉄道茶論の開催	10,000	0			0	10,000	
(3)会報の作成	60,000	75,000			75,000	△ 15,000	
(4)地域鉄道フォーラムの開催	10,000	13,120			13,120	△ 3,120	ポスター等
(5)地域鉄道支援事業	300,000		840		840	299,160	
(6)調査出版事業	200,000		401,492		401,492	△ 201,492	
事業費計	590,000	88,120	402,332		490,452	99,548	
2. 管理費							
(1)会議費	15,000	4,300	0		4,300	10,700	理事会
(2)諸会費	0	12,000	0		12,000	△ 12,000	
(3)旅費交通費	25,000	37,360	0		37,360	△ 12,360	
(4)通信費	20,000	14,260	0		14,260	5,740	郵便、宅配便
(5)什器備品費	0		0		0	0	
(6)事務用消耗品費	40,000	89,787	0		89,787	△ 49,787	
(7)新聞図書費	10,000	15,300	0		15,300	△ 5,300	
(8)委託費	0		0		0	0	
(9)雑費	10,000	5,000	0		5,000	5,000	供花
(10)租税公課	110,000	400	119,100		119,500	△ 9,500	法人税等
管理費計	230,000	178,407	119,100		297,507	△ 67,507	
3. 他会計への繰出額		75,000	75,000	△ 150,000	0		
事業活動費計	820,000	341,527	596,432	△ 150,000	787,959	32,041	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	866,278	863,660
未収入金	0	0
仮払金	0	0
資産 a	866,278	863,660
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	205,072	99,900
前受金	4,000	24,000
負債 b	209,072	123,900
繰越収支差額 a-b	657,206	739,760

貸借対照表

(2013年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	676,917	186,743		863,660	866,278	△ 2,618	
未収入金	0	0		0	0	0	
前払費用	0	0		0	0	0	
仮払金	0	0		0	0	0	
流動資産合計	676,917	186,743		863,660	866,278	△ 2,618	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	676,917	186,743		863,660	866,278	△ 2,618	
2. 負債の部							
(1) 流動負債						0	
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用	0	0		0	0	0	
未払金	0	99,900		99,900	205,072	△ 105,172	法人税等
前受金	24,000	0		24,000	4,000	20,000	次年度会費前受け
負債合計	24,000	99,900		123,900	209,072	△ 85,172	
3. 正味財産の部							
基金	650,000	0		650,000	600,000	50,000	
一般正味財産	2,917	86,843		89,760	57,206	32,554	
正味財産合計	652,917	86,843		739,760	657,206	82,554	
負債及び正味財産合計	676,917	186,743		863,660	866,278	△ 2,618	

正味財産増減計算書

(第4期: 2012年4月1日～ 2013年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	600,000			600,000	550,000	50,000	
基金期末残高	650,000			650,000	600,000	50,000	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入金	15,000	0		15,000	16,000	△ 1,000	
受取年会費	234,000	0		234,000	204,000	30,000	
事業収益	0	532,500		532,500	1,423,750	△ 891,250	
受取寄付金	37,000	0		37,000	2,380	34,620	
雑収入等	1,960	53		2,013	977	1,036	
他会計からの繰入額	75,000	75,000	△ 150,000	0	0	0	
経常収益合計	362,960	607,553	△ 150,000	820,513	1,467,107	△ 646,594	
(2) 経常費用							
事業費	88,120	402,332		490,452	1,427,482	△ 937,030	
管理費	178,407	119,100		297,507	144,955	152,552	
他会計への繰出額	75,000	75,000	△ 150,000	0	0	0	
経常費用計	341,527	596,432	△ 150,000	787,959	1,572,437	△ 784,478	
当期経常増減額	21,433	11,121		32,554	74,670	△ 42,116	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	21,433	11,121		32,554	74,670	△ 42,116	
一般正味財産期首残高	△ 18,516	75,722		57,206	△ 17,464	74,670	
一般正味財産期末残高	2,917	86,843		89,760	57,206	32,554	
正味財産合計	652,917	86,843		739,760	657,206	82,554	

財務諸表に対する注記

重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日付け内閣府公益法人認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2013年 4 月 12 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

代表理事 佐藤信之 殿

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

監 事 唐崎好彦 ㊞

監 査 報 告 書

私は、2012年4月1日から2013年3月31日までの第4期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

2013年度 事業計画

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

1. 基本方針

地域鉄道を守ることは、沿線地域の足が確保されることにとどまらず、コミュニティやその地域で培ってきた伝統や文化を守ることにもなります。

地域と鉄道のより一層緊密な結びつきが必要との認識のもと、地域鉄道と関連交通環境の調査研究、交通環境の整備等の諸活動を継続実施します。

2. 交通環境の調査研究

地域鉄道をとりまく交通環境に関する諸情報を収集し、歴史的背景やその運営方策についての調査研究を継続して行うほか、都市鉄道、幹線鉄道、コミュニティバス等に関しても継続調査を実施する予定です。

調査研究の結果については会報や出版物を通じて随時発表して行きます。

3. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

交通環境の整備に資するため、地域鉄道フォーラム等の主催事業を開催します。

また、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等が行う地域交通活性化の活動を後援、協力して行きます。

地域鉄道フォーラムは、以下のとおり開催します。

期 日：平成25年6月8日（土）13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人200円、小人100円が必要です。

内容：

地域鉄道においては、沿線人口の減少や少子高齢化の進展等により取り巻く環境は厳しさを増していますが、その中であって地域コミュニティとの結び付きを強化し、観光への利用促進策や合理化など様々な努力を続けている鉄道があります。地域に根ざしたさまざまな活動や取り組みが大きな動きとなるよう、国土交通省においては「地域鉄道の再生・活性化等研究会」を設け、具体的な施策を検討してきました。今回はその研究会座長を務めた矢ヶ崎紀子氏を講師としてお迎えします。

また、現に地域とともに再生に取り組んでいるひたちなか海浜鉄道社長吉田千秋氏からは、これまでの歩みについて講演をいただきます。

(プログラム)

1. 開会の辞 一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事 佐藤信之
2. 来賓挨拶 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 高原修司氏
3. 講演
首都大学東京 観光科学域特任准教授 矢ヶ崎紀子氏
～地域鉄道の再生・活性化の事例から学ぶ～
ひたちなか海浜鉄道株式会社 社長 吉田千秋氏
～地域と共に歩む鉄道をめざして～

このほか、鉄道茶論、セミナートレイン等の開催を検討し、決定次第ホームページやインターネットメールによってお知らせいたします。

4. 収益事業

(1) 地域鉄道支援事業

地域鉄道とタイアップした支援企画、共同事業を行なっていきます。

(2) 調査出版事業

地域の交通に関する諸調査と交通に関する資料の刊行を行います。

5. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> を使って情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集、

メールによる情報配信を行なっていきます。

(2) 会報「地域交通を考える」の発行
交通環境調査研究の論文及び地域鉄道の諸情報等をまとめた会報「地域交通を考える」を発行します。

(3) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載
鉄道ジャーナル誌の「ECOTRAN通信」を活用して広く一般の方々に当法人並びに会員の活動を毎月紹介していきます。

6. 当法人の発展のために

当法人発展のために、会員諸氏におきましても広報活動をお願いします。

会費の納入のお願い

平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）会費 2,000 円を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

口座名称(カナ) シヤ) コウツウカンキョウセイビネットワーク

銀行等からお振込みされる場合は、次をお願いします。

ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 0546398

2013年度 収支予算書

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	15,000			15,000	15,000
②受取年会費	220,000			220,000	200,000
③事業収益					
地域鉄道支援事業		100,000		100,000	350,000
調査出版事業		300,000		300,000	300,000
④受取寄付金					
⑤雑収入等				0	5,000
⑥他会計からの繰入額	75,000	75,000	△ 150,000	0	0
事業活動収入計	310,000	475,000	△ 150,000	635,000	870,000
(2) 事業活動支出					
①事業費支出	105,000	290,000		395,000	590,000
②管理費支出	130,000	90,000		220,000	230,000
③他会計への繰出額	75,000	75,000	△ 150,000	0	0
事業活動支出計	310,000	455,000	△ 150,000	615,000	820,000
事業活動収支差額	0	20,000	0	20,000	50,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
4. 予備費支出	20,000	0		20,000	50,000
当期収支差額	△ 20,000	20,000		0	0
前期繰越収支差額	581,484	75,722		657,206	657,206
次期繰越収支差額	561,484	95,722		657,206	657,206

事業活動支出の内訳

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	30,000			30,000	30,000
(2)会報の作成	75,000			75,000	60,000
(3)地域鉄道支援事業		90,000		90,000	300,000
(4)資料調査事業		200,000		200,000	200,000
事業費計	105,000	290,000	0	395,000	590,000
2. 管理費					
(1)会議費	10,000			10,000	15,000
(2)諸会費	10,000			10,000	0
(3)旅費交通費	25,000			25,000	25,000
(4)通信費	15,000			15,000	20,000
(5)什器備品費					
(6)事務用消耗品費	40,000			40,000	40,000
(7)新聞図書費	10,000			10,000	10,000
(8)委託費					
(9)雑費	5,000			5,000	10,000
(10)租税公課	15,000	90,000		105,000	110,000
管理費計	130,000	90,000	0	220,000	230,000
3. 他会計への繰出額	75,000	75,000	△ 150,000	0	0
事業活動費計	310,000	455,000	△ 150,000	615,000	820,000

第1号議案 理事選任の件

理事全員（6名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては1名追加し、理事7名の選任をお願いいたします。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	きとうのぶゆき 佐藤信之 (昭和31年2月1日)	交通評論家、亜細亜大学講師（交通政策論、日本産業論） 平成14年国土交通省鉄道局の地方鉄道問題に関する検討会委員を務める。 公益事業学会・日本交通学会会員、鉄道サポーターズネットワーク顧問 平成21年3月 当法人代表理事（現在）
2	はら きよし 原 潔 (昭和23年9月28日)	運輸省、国土交通省を経て千葉都市モノレール運輸部長、同社取締役運輸事業本部長、同社安全統括管理者、日本民営鉄道協会総務広報部長、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を務める。鉄道史学会会員 平成21年3月 当法人専務理事（現在）
3	こうごこうさく 向後功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鉄道次長、銚子市観光プロデューサーを経て、銚子市行政アドバイザー、関東運輸局地域公共交通マイスター、NHKラジオリポーター、放送大学非常勤講師を務める。まちづくり活動を主宰 平成21年3月 当法人常務理事（現在）
4	よしだちあき 吉田千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鉄道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスターを務める。 平成21年3月 当法人理事 平成22年7月 当法人常務理事（現在）
5	さいとうみのる 齋藤 実 (昭和25年9月29日)	運輸省、日本鉄道建設公団、運輸施設整備事業団、国土交通省を経て、東武鉄道株式会社鉄道事業本部計画管理部参事役 平成21年3月 当法人理事（現在）
6	たなか まさと 田中 人 (昭和43年6月23日)	早稲田大学助手、立教大学兼任講師などを経て、現在亜細亜大学・早稲田大学・立教大学講師 社会学・社会哲学（コミュニティ論・現代文化論など） 平成21年3月 当法人理事（現在）
7 新任	ふじもとまさひろ 藤本昌弘 (昭和44年4月19日)	鉄道等の乗車券全般にわたるデザインと印刷を手がけ、今日貴重となった硬券印刷において屈指の技術を有する。平成21年11月より当法人社員 関東交通印刷株式会社代表取締役（現在）

第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。

なお、当法人の監事は任期4年、2名以内となっており、唐崎好彦現監事の同意を得て1名追加選任をするものです。

氏名 (生年月日)	略歴
こじま よしき 小島 好己 (昭和46年2月19日)	平成11年 司法修習所入所（第53期） 平成12年 東京弁護士会所属 平成17年 よしき法律事務所開設 平成24年 東京神谷町総合法律事務所弁護士（現在） 千葉県後期高齢者医療連合情報公開・個人情報保護審査会委員、東京簡易裁判所 司法委員、法曹レールファンクラブ企画担当車掌を務める